

補助事業番号 27-21

補助事業名 平成27年度機械工業における国際経済交流推進補助事業

補助事業者名 一般財団法人 国際経済交流財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

世界経済は引き続き穏やかな回復を維持しているものの、中国景気の失速が懸念されるなど依然として不透明性が続いている。その中で、日本のアベノミクスに対する成否が世界的に関心を集め、日本の世界経済成長への貢献が大きく問われ、マクロ経済政策について各国間で調整を図ることが持続的回復にとって重要となっている。そして各国とも経済の構造改革により潜在成長力、国際競争力を高めることが取組むべき課題とされ、特に、貿易自由化が成長戦略として位置付けられ推進されている。また、気候変動やエネルギー政策など中長期のグローバル課題への適切な対応が求められている。

これらの課題は、極めて問題が多岐に渡り、複雑化しているため、政府だけでなく、様々な識者・専門家の知恵を必要としていることから、政府では出来ない民間の知恵を活用した貢献を行っていく必要がある。

上記の機械工業にとって重要な国際経済の諸課題の解決に向け、産学等の国際交流会議の対話を通じて、外国との相互理解が増進し、協力関係が強化されることで、貿易自由化等が一層進み、貿易相手国の関税引下げ等により、我が国機械工業の国際競争力の強化を図る。特に、アジアを中心として各国・地域間のFTAの推進・強化を図る。また、会議に若手研究者を積極的に参加させ、次世代を担う人材の育成に貢献する。

(2) 実施内容

平成27年9月25日、米国最大のシンクタンクであるブルッキングス研究所との共催で日米フォーラムをワシントンDCで開催。日本、米国といった先進諸国、これまでの世界経済の牽引役である中国、牽引役が期待されるインド、そしてブラジル新興経済諸国の経済的な課題と解決策、そして世界経済の持続的発展に必要な気候変動・エネルギーに関する課題と解決策が議論され、質の高い討議を行った。また、日本の立場や考え方を十分に説明した結果、米国側の理解を深めることが出来た。

平成27年11月13日、英国王立国際問題研究所(チャタムハウス)との共催で、日欧フォーラムをロンドンで開催。日本とEU経済の政治的側面から日欧が現在抱えている共通的な課題に関して解決策、対応策を議論した。日欧スピーカーに加え、ロンドン在住の学者、ビジネスマン、日本大使館関係者、日系企業代表など聴衆が総計39名参加し、活

発な意見交換ができた。

平成27年11月26～27日、インドネシア・ジャカルタにおいて東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）とインドネシア戦略国際研究所（CSIS）との共催でアジア太平洋フォーラムを開催した。2015年末にアセアン経済共同体（AEC）が正式に発足することを踏まえて、その後の東アジアでの地域統合や域内の持続的経済成長に向けての課題や解決策を議論した。公開フォーラムでは140名もの聴衆の参加し、内容的にも質的にも高い議論ができた。

日欧フォーラムと日アジアフォーラムにおいては若手研究者も参加させ、人材の育成を図った。

2. 予想される事業実施効果

日欧、日米、日アジア太平洋と、海外のシンクタンク等の様々な海外ネットワークを活用した政府間の交渉とは異なった産学等の多様な識者による民間ベースの国際交流会議の実施により、相互理解が深まり共通認識が生ずることで相互協力の必要性が認識され、機械工業にとって重要な国際経済の諸課題の解決への方策が採られる。その結果、貿易自由化等が一層進み、貿易相手国の関税引き下げ等により、我が国機械工業の国際競争力の強化が図られ、また特に海外投資による成長を基本とする機械工業にとって重要な海外の投資環境が整備される。

3. 補助事業に係る成果物

- (1) 平成27年度日米フォーラム(米国)報告書
平成27年度日欧フォーラム(欧州)報告書
平成27年度日アジア太平洋フォーラム(アジア)報告書
- (2) 英文情報誌「Economy, Culture & History JAPAN SPOTLIGHT Bimonthly」の2016年3/4月号において、平成27年度事業の成果を掲載した。

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人国際経済交流財団（コクサイケイザイコウリユウザイダン）
住所： 〒104-0061東京都中央区銀座5丁目15-8 時事通信ビル11階
担当部署： 総務部
担当者名： 総務部主任 安食 美恵子（アジキ ミエコ）
電話番号： 03-5565-4823

F A X : 03-5565-4828

E-mail : info@jef.or.jp

U R L : <http://www.jef.or.jp/jp/index.asp>